

2024年10月29日

COP29直前ウェビナーシリーズ 第3回

「強化された透明性枠組（ETF）と隔年透明性報告書（BTR）解説」

隔年透明性報告書（BTR）と国が決定 する貢献（NDC）のトラッキング

気候変動とエネルギー領域

フェロー

ムルン テムールン

本日本話しする内容

- 隔年透明性報告書（BTR）：報告要素、作成上の原理とルール
- 国家温室効果ガスインベントリ報告書
- NDCの実施・達成の進捗に関する情報
- NDCトラッキング指標
- インベントリと政策のリンク
- NDCトラッキング国内システム

「隔年透明性報告書（BTR）」の報告要素

1. **国家温室効果ガスインベントリ報告書【必須】**
2. **NDCの実施・達成の進捗に関する情報【必須】**
3. 気候変動インパクト及び適応に関する情報【必須でない】
4. **先進国によって提供・動員された資金、技術開発・移転、能力構築支援に関する情報【先進国・必須】**
5. 途上国によって必要・受託された資金、技術開発・移転、能力構築支援に関する情報【途上国・必須でない】

「隔年透明性報告書（BTR）」の作成

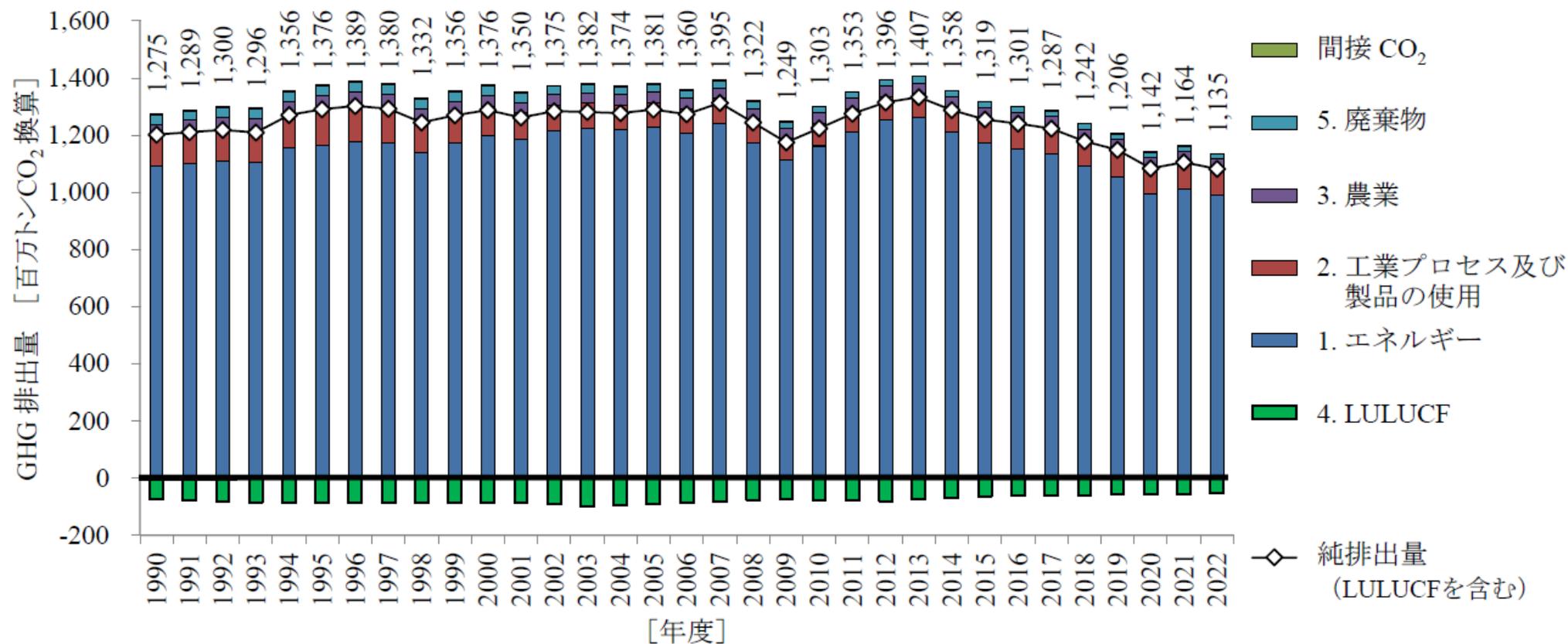
- **途上国と先進国で差がない、共通のガイドラインで報告する** — パリ協定下の透明性枠組みにおけるモダリティ・手順・ガイドライン — (MPGs)
- **共通の報告様式で報告する** — 共通報告表 Common Tabular Formats (CTFs) and 共通報告様式 Common Reporting Formats (CRFs)
- **報告が困難な場合は柔軟性を適用** — Flexibility to those developing countries that need it in the light of their capacities
- **透明性、正確性、完全性、一貫性、比較可能性** — Promoting transparency, accuracy, completeness, consistency and comparability

1. 国家温室効果ガスインベントリ報告書 【必須】

- 温室効果ガスインベントリ（Greenhouse Gas Inventory）：一国が1年間に排出・吸収する温室効果ガスの量を取りまとめたデータのこと
- IPCCガイドライン*：温室効果ガスインベントリにおける温室効果ガス排出・吸収量の算定は、IPCCが作成したガイドラインに基づいて行うこと
- MPGsで温室効果ガスインベントリの報告要素を規定しています。例えば、算定方法、対象ガス、報告の開始年など。共通報告様式（CRFs）で報告する。

*IGESではIPCCガイドラインを作成している[The Task Force on National Greenhouse Gas Inventories \(TFI\)](#)をホストしている。

1. 国家温室効果ガスインベントリ報告書 **【必須】**



各分野の温室効果ガス排出量及び吸収量の推移

LULUCF：土地利用、土地利用変化及び林業分野

出典: 日本国温室効果ガスインベントリ報告書 (2024). <https://www.nies.go.jp/gio/aboutghg/index.html>

1. 国家温室効果ガスインベントリ報告書 【必須】

MPGsの要求事項（一部）と隔年更新報告書（BUR）における報告の現状

報告要素	要求事項	最新隔年更新報告書 (n=98)
算定方法	2006年IPCCガイドライン	18%
ガスの種類	7ガス (CO ₂ , CH ₄ , N ₂ O, HFCs, PFCs, SF ₆ , NF ₃)	10%
柔軟性適用	3ガス (CO ₂ , CH ₄ , N ₂ O)	100%
報告の開始年	1990年以降毎年	33%
柔軟性適用	2020年以降毎年 (NDC開始期間)	-
報告の最終年	提出年の2年前	10%
柔軟性適用	提出年の3年前	25%

2. NDCの実施・達成の進捗に関する情報 **【必須】**

NDCの実施・達成の進捗に関するMPGsの報告要素：

3章. A NDC（国が決定する貢献）に関する国内制度的枠組み

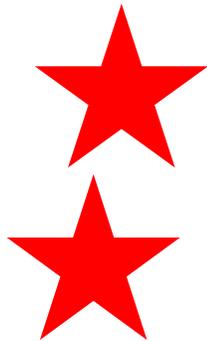
3章. B NDCのの説明

3章. C NDCの実施・達成の進捗に関する情報

3章. D 緩和政策・行動に関する情報

3章. E 温室効果ガスインベントリの概要

3章. F 温室効果ガス排出・吸収量の予測



2. NDCの実施・達成の進捗に関する情報 **【必須】**

3章. C. NDCの実施・達成の進捗に関する情報

- NDCの進捗を**トラッキングする指標**の設定
(NDCのタイプによる)
- **柔軟性が適用されない**
- 「**基準年の指標**」と「**最新年の指標**」の比較
- NDCの達成評価が2032年のBTR5で報告される

2. NDCの実施・達成の進捗に関する情報 【必須】

共通報告表（CTFs）のNDCの構造的要約(一部)

4. Structured summary: Tracking progress made in implementing and achieving the NDC under Article 4 of the Paris Agreement^a

Indicator(s) selected to track progress of the NDC or portion of NDC under Article 4 of the Paris Agreement (paras. 65 and 77 of the MPGs):	Reference point(s), level(s), baseline(s), base year(s) or starting point(s), as appropriate (paras. 67 and 77(a)(i) of the MPGs)	Implementation period of the NDC covering information for previous reporting years, as applicable, and the most recent year, including the end year or end of period (paras. 68 and 77(a)(ii–iii) of the MPGs)						Target level ^b	Target year or period	Progress made towards the NDC, as determined by comparing the most recent information for each selected indicator, including for the end year or end of period, with the reference point(s), level(s), baseline(s), base year(s) or starting point(s) (paras. 69–70 of the MPGs)
		Year 1	Year 2	End year			
{Indicator}										
{Parties can add rows for each additional indicator and supporting information for each indicator, e.g. baseline values, baseline for the portion of NDC, target values, mitigation effects of policies and measures, etc.}										
Where applicable, total GHG emissions and removals consistent with the coverage of the NDC (para. 77(b) of the MPGs)										
Contribution from the LULUCF sector for each year of the target period or target year, if not included in the inventory time series of total net GHG emissions and removals, as applicable (para. 77(c) of the MPGs)										
Each Party that participates in cooperative approaches that involve the use of ITMOs towards an NDC under Article 4 of the Paris Agreement, or authorizes the use of mitigation outcomes for international mitigation purposes other than achievement of the NDC, shall provide (para. 77(d) of the MPGs):										
If applicable, an indicative multi-year emissions trajectory,										

指標

追加指標があれば

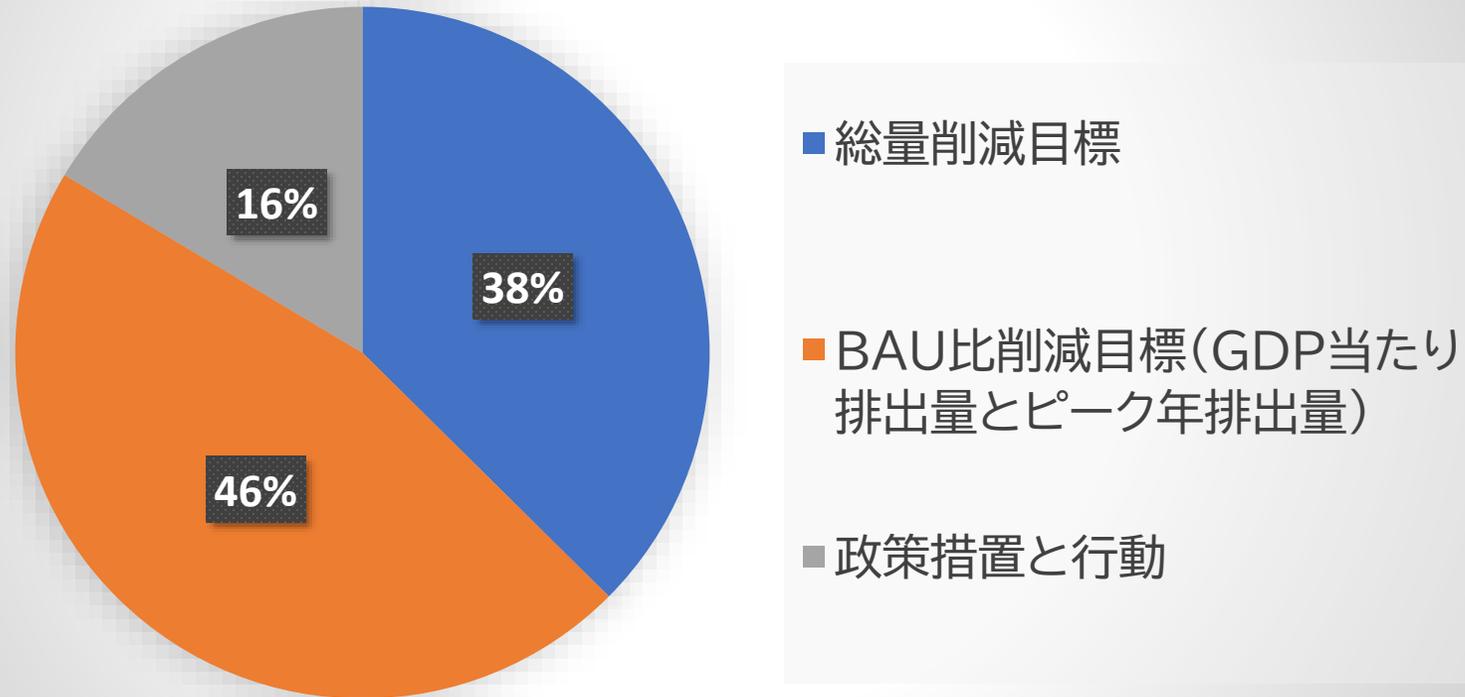
総排出・吸収量

森林からの貢献

6条からの国際的に移転される緩和の成果 (ITMOs)

NDCトラッキング指標（1）

NDCの削減目標タイプ



n=168 (NDC最新版2023年9月)

※BAU(Business-As-Usual)：追加的な対策を講じなかった場合の温室効果ガスの排出量

出典：UNFCCC synthesis report. (2023). <https://unfccc.int/documents/632334>

NDCトラッキング指標（2）

削減目標タイプ	例	国
総量削減目標	2030年までに2013年比でGHG排出量を46%削減 2050年までGHG排出量を1990年と比較して40%削減	日本 (Updated first NDC)、 アゼルバイジャン (Second NDC)
BAU比削減目標	2030年に排出量を無条件でBAU比31.89%削減、条件付きでBAU比43.2%削減	インドネシア (Updated first NDC)
GDP当たり排出量	2030年までにGDP当たりCO ₂ 排出量を65%以上削減 (参照年2005)	中国 (Updated second NDC)
ピーク年排出量	2020年から2030年の間に1,100 MtCO ₂ eqを超えない GHG排出量バジェットを設定し、2025年までに排出量のピークを迎える	チリ (Updated first NDC)
政策措置と行動	2030年までに、クリーンエネルギーの発電能力を約1,400 MWから15,000 MWに拡大 2030年までに国内の森林被覆率を33%に引き上げる	ネパール (Second NDC) キューバ (Updated first NDC)

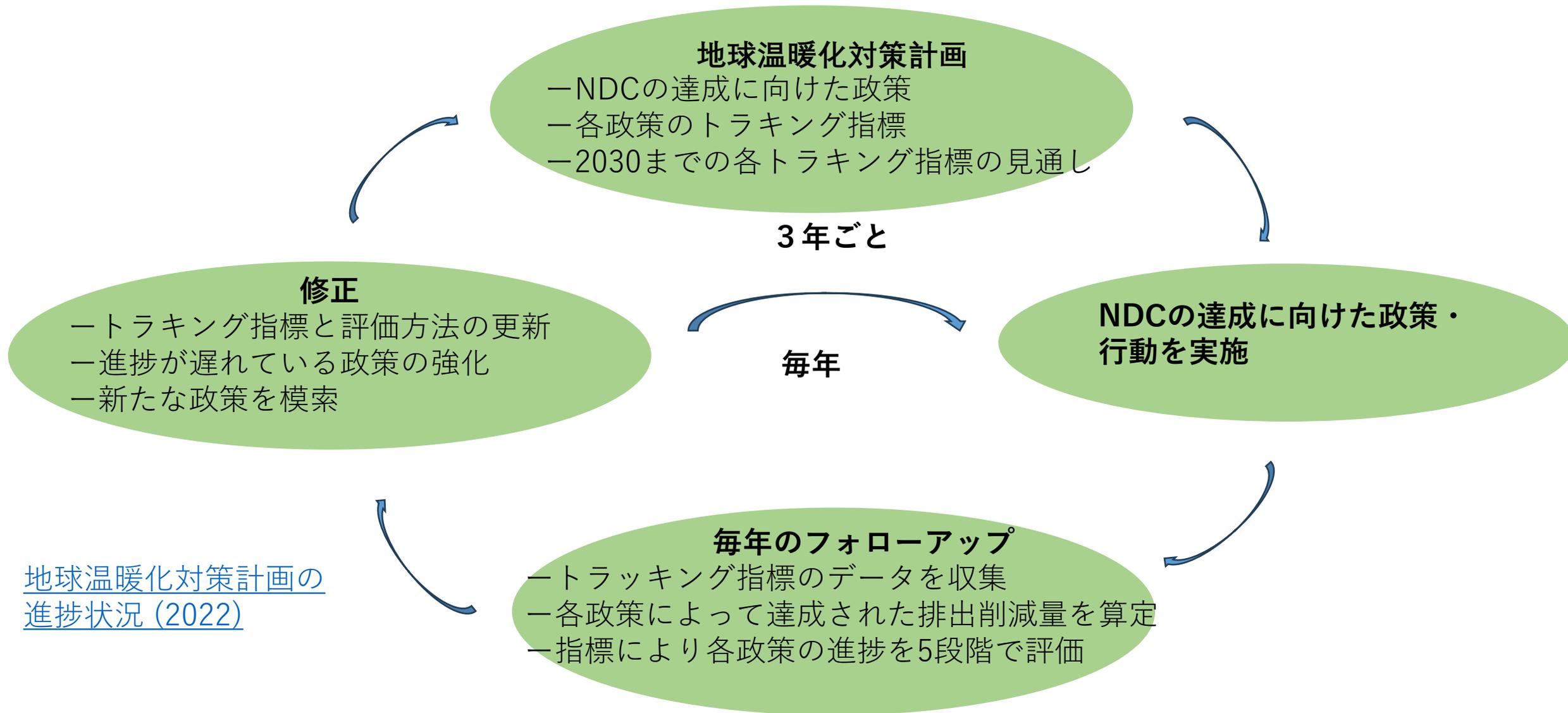
NDCのトラッキング指標は様々、BTR1でどんな指標が報告されるのかが注目

インベントリと政策のリンク

NDCの実施・達成に向けた気候変動政策がどう関与するか

- NDCの削減目標タイプが総量削減目標やBAU比削減目標であれば
- インベントリがNDCの進捗をトラッキングする指標として重要
- 気候変動政策がインベントリの算定パラメータに反映
- 政策の効果（削減量）がNDCのトラッキングに関与
- 気候変動政策とインベントリのリンクを考慮

例：NDCのトラッキングする日本国内システム



まとめ

- BTRの報告要素（必要）：インベントリ報告書、NDCの実施・達成の進捗に関する情報
- BTRの重要性：NDCの実施・達成に向けた気候変動対策・支援について報告する国家レベルの報告書
- 共通のガイドライン（MPGs）に沿って、共通報告様式・表で報告する事、柔軟性が適用される事
- NDCの進捗状況をトラッキングする指標の設定し、NDCの達成評価。NDCのタイプによってトラッキングする指標も様々
- NDCの実施進捗状況をトラッキングする国内システムが未だ構築されていない途上国が多い。透明性能力構築が必要

ご清聴ありがとうございました。

気候変動とエネルギー領域/ フェロー
ムルン テムールン

murun@iges.or.jp

<https://www.iges.or.jp/en/projects/transparency>